

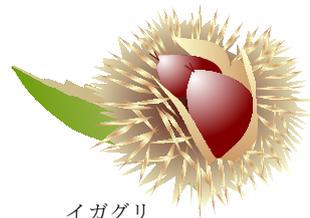


南小 学校通信

大泉町立南小学校

NO. 9 令和2年10月30日(金)

味覚の秋、芸術の秋、スポーツの秋という好季節、皆様には充実した日々をお過ごしのことと思います。健康管理には、まだまだ気をつかうことが多いですが、引き続きご協力をお願いします。10月から南小では様々な行事が再開され、子どもたちの生き生きした声ははじけています。やっと小学校らしくなってきたような感じがします。



イガグリ

バス遠足、林間学校に行ってきました

バス遠足や林間学校に行ってきました。コロナ禍で開催が心配されましたが、無事に行くことができたのも、ご家庭での健康管理のおかげです。普段、教室では学べないものが、たくさんありました。これからの勉強に生かしていけたらと思います。



1年生：さいたま水族館



2年生：宇都宮科学館



3年生：宇都宮科学館



4年生：福岡自然史博物館



5年生：林間学校

10月30日 南小学校開校記念日

本校は明治6年10月30日、「知新社」という学校名で旧吉田村（現在：大泉町吉田）の宝積寺（ほうしゃくじ）で開校されたと、大泉町誌上巻の自然・文化編に記録されています。大泉町で最初の学校だそうです。明治18年学区制公布により邑楽郡第13小学校となり、初代校長先生が赴任しました。その後小学校令公布により仙石尋常小学校、大川尋常小学校、大川村国民学校、大川村立大川小学校と校名変更し、昭和33年に大泉町立南小学校になりました。今年で147周年になり、長い歴史の中で15,578人のよき先輩たちが巣立っていきました。

「教育は生活とともに始まり、発展する」といわれ、南小学校は名実ともに地域の教育文化のセンターとして育てられ、広く住民の心のよりどころとして、歴史と伝統を培っています。このような伝統のある学校で学ぶことができることは、名誉でもあり、誇りでもあります。

本校に在籍している全児童、勤務している全職員、さらにPTA会員の皆さんが、歴史と伝統の大切さを知り、それを継承しながら様々な教育活動を行っていくことを期待します。さらに永遠に歩み続けるであろう南小学校の発展に、輝かしい足跡を残してくれることを信じています。